

中小規模事業場安全衛生相談窓口 (9:00～17:00)

■中央労働災害防止協会 本部 東京都港区芝 5-35-2 (安全衛生総合会館) TEL 03-3452-6296

■北海道安全衛生サービスセンター

北海道札幌市中央区南 19 条西 9 丁目2-25
TEL : 011-512-2031

■近畿安全衛生サービスセンター

大阪府大阪市西区土佐堀2-3-8
TEL : 06-6448-3450

■東北安全衛生サービスセンター

宮城県仙台市青葉区上杉1-3-34
TEL : 022-261-2821

■大阪労働衛生総合センター

大阪府大阪市西区土佐堀2-3-8
TEL : 06-6448-3464

■関東安全衛生サービスセンター

東京都港区芝 1-15-5 リオテック芝ビル5階
TEL : 03-5484-6701

■中国四国安全衛生サービスセンター

広島県広島市西区三篠町3-25-30
TEL : 082-238-4707

■中部安全衛生サービスセンター

愛知県名古屋市熱田区白鳥1-4-19
TEL : 052-682-1731

■中国四国安全衛生サービスセンター四国支所

香川県高松市番町3-3-17 第1 讀機ビル2階北側
TEL : 087-861-8999

■中部安全衛生サービスセンター北陸支所

富山県富山市奥田新町8-1 ボルファートとやま9階
TEL : 076-441-6420

■九州安全衛生サービスセンター

福岡県福岡市博多区東光2-16-14
TEL : 092-437-1664

こんな相談が寄せられています

Q 働き方改革の一環として、長時間労働を改善するための効果的な取り組みを教えてください。

Q フルハーネス型墜落制止用器具の使用上の注意点は？ また、特別教育とは？

Q 高年齢労働者の労働災害防止のため、どのような職場環境改善を行えばよいですか？

Q 事業場内の階段・通路で転倒災害が目立つのですが、有効な対策はありますか？

Q テレワークを進める際、留意すべき点はどんなところですか？

Q ○○免許や技能講習終了証の更新制度はあるのでしょうか。

Q 義務化されている化学物質のリスクアセスメントを導入したいが、まずやるべきことは何ですか？

Q アルバイトや派遣労働者への安全衛生教育はどのように行えばよいのでしょうか？

中災防が薦める中小規模事業場のサポートメニュー

～大手企業の系列企業・協力会社でも活用できます～

労働者がおおむね100人未満の中小規模事業場に対し、集団支援（研修会）と個別支援（現場確認&アドバイス）を無料で実施します。製造業、第三次産業、鉱業の業種で労災保険適用事業場が対象となります。

ここが
メリット

- 企業・職場ごとの安全衛生の課題について改善に取り組むことで、安全衛生水準が向上します。
- 職場環境改善、作業の効率化などにより、生産性が向上します。

現在、中災防Webサイトで実施事業場の声を掲載しています！

中小規模事業場安全衛生サポート事業（無料）

問い合わせ先 中災防技術支援部業務調整課

TEL 03-3452-6366

FAX 03-5445-1774

E-mail gijutsu@jisha.or.jp

または、地区安全衛生サービスセンターまで

賛助会員募集中！

研修会割引、定期刊行物・週間見本品の送付、専用サイトの利用

最新の安全衛生情報を配信！
中災防メルマガ会員募集中

詳しくは 中災防メールマガジン 検索

無料

職場の安全・健康について お気軽にご相談ください！

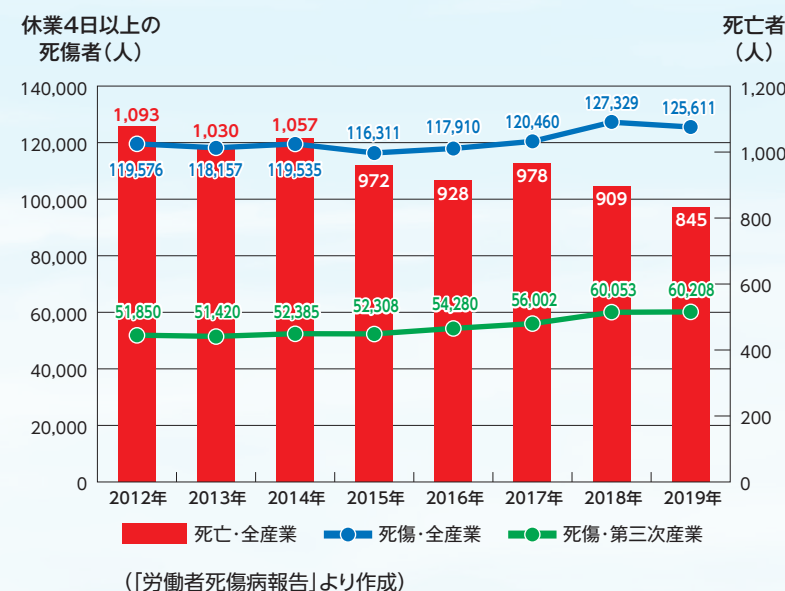
中災防は、法律により設立された、職場の安全と健康についての専門家集団です。

中災防では、中小規模事業場等の労働災害防止のため、事業場が抱える課題・問題・悩み等の解決を手助けする「中小規模事業場安全衛生相談窓口」を全国に設け、安全で健康な職場づくりをサポートしています。

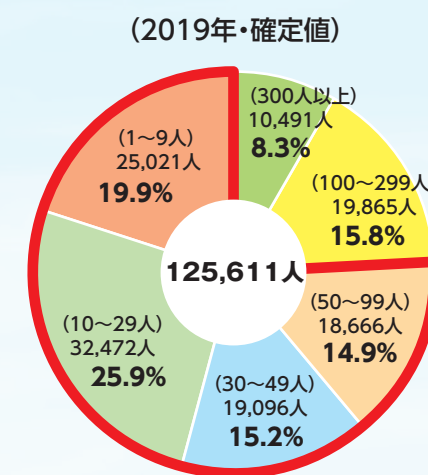
第三次産業などで
労働災害が増加傾向！

労働災害の多くは
中小規模事業場で発生！

労働災害発生件数の推移 (2012～2019年)



事業場規模別死傷災害発生状況



※ の囲み: 従業員数100人未満の事業場
(「労働者死傷病報告」より作成)

安全衛生に関するご質問・ご相談はお気軽に中災防へ！

中小規模事業場安全衛生相談窓口 (9:00～17:00)

電話 03-3452-6296 (中災防本部)

メール jisha-soudan@jisha.or.jp

全ての働く人々に安全・健康を ～ Safe Work, Safe Life ～
JISHA 中災防
Japan Industrial Safety & Health Association

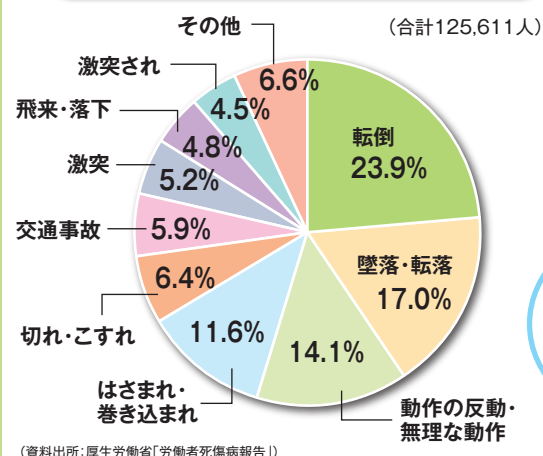
<https://www.jisha.or.jp>

中災防 相談 検索



「転倒」「墜落・転落」防止の注意点

事故の型別・死傷災害発生状況(2019年)



床面にある水、油、粉類等はこまめに拭き取ろう。



抱える荷物は足元が見える高さに。



天板上での作業は禁止。

ヘルメットを着用しよう。

労働災害の約4割は「転倒」「墜落・転落」

(資料出所:厚生労働省「労働者死傷病報告」)

職業性疾病で最多は「腰痛」

職業性疾病の約6割を「腰痛」が占めています。

中災防では、職場における腰痛予防に役立つ図書・用品やさまざまな情報を提供しています。



熱中症は、さまざまな業種、さまざまな状況で発生しています！

職場における熱中症による死傷者数は2011年以降も高止まりで推移してきましたが、2018年は一気に1,000人を超え、2019年も800人余りと厳しい状況が続いています。熱中症は屋外だけでなく、夏季の高温多湿な環境では屋内でも起こり得ます。熱中症による死亡者、死傷者を防ぐには、早めの対策が必要です。



義務化された化学物質のリスクアセスメントへの対応を！

～適切な化学物質管理のため、リスクアセスメントの実践を～

労働安全衛生法の改正により、安全データシート(SDS)の交付義務対象である673の化学物質(2018年7月1日現在)について、リスクアセスメント(危険性または有害性の調査)の実施が、製造または取り扱う全ての事業所に義務付けられています。

中災防では、化学物質のリスクアセスメントに関連するセミナー・研修会や技術サービスを行っています。

■化学物質の管理実務者養成のためのセミナー・研修会

(化学の基礎から学ぶ化学物質管理研修、化学物質管理者選任時研修(爆発・火災防止)(健康障害防止)、SDS読み方&コントロールバンディング研修 ほか多数)

■ばく露評価に関する支援(個人ばく露測定の実施、数値モデルを用いたばく露濃度の推定等)

■リスクアセスメントからリスク低減措置の実施支援 ほか

化学物質の管理などに関するご相談は

→ 中災防 労働衛生調査分析センターへ

中災防ウェブサイト 化学物質関連セミナー、技術サービスのご案内
<https://www.jisha.or.jp/chemicals/index.html>

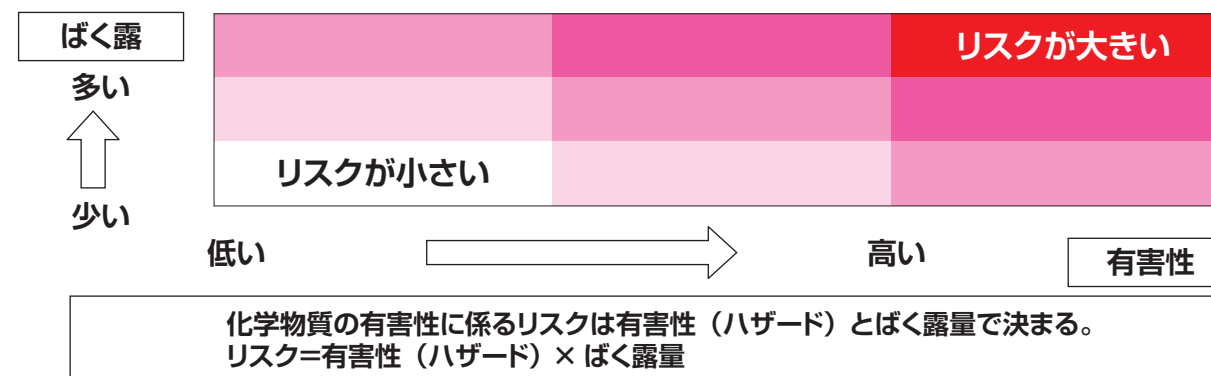
中災防 化学物質のリスクアセスメント 検索

●中央労働災害防止協会
労働衛生調査分析センター

TEL 03-3452-3145

FAX 03-3452-4807

化学物質のリスクアセスメントの概要



ストレスチェックの有効活用を！

中災防では、ストレスチェック制度に対応した「中災防ストレスチェックサービス」や、ストレスチェックの結果を職場環境改善につなげるための各種サービスを行っています。

■中災防ストレスチェックサービス(ヘルスアドバイスサービス)

■メンタルヘルスに関する各種研修会・セミナー

■ストレスチェック結果説明、結果を活用した社内教育の提案 ほか

ストレスチェック、メンタルヘルスについてのご相談は

→ 中災防 ストレスチェック事業課へ

中災防ウェブサイト ストレスチェック制度特設ページ
<https://www.jisha.or.jp/stress-check/index.html>

中災防 ストレスチェック 検索

●中央労働災害防止協会
健康快適推進部 ストレスチェック事業課

TEL 03-3452-6403

FAX 03-3452-6406